

ながめている者にとつては特別なものとは感じず目にしてい
る。その美しく雄大な郷土の山
や川をもう一度見つめ直し、自
然を愛し、守ろうという気持ち
や、美しいものを見て素直に感
動する心を育てたいと考えた。

また、他の教科や環境教育と
の関連をもたせ、将来実施され
る「総合的な学習の時間」にも
対応できる道徳の資料を作成し
たいと考えた。

③ 授業の考察と評価

今回は一単位時間の道徳の授
業として実践をしたが、「親子奉
仕(除草)作業」や「地域生徒会
活動」、日常の清掃活動や委員会
活動などと意図的に結びつけた
指導を行った。これらで見せる
意欲的な活動から、生徒の道徳
の実践力の向上が評価できる。

これらを、体験活動との関連
や「総合的な学習」の時間として
実践が図られ、その効果が高め
られるであろうと考える。

資料の提示の方法として、二
種類のカラー写真を利用した。

これは、高村光太郎が見たであ
ろう安達太良山の姿と、指導者
が感動を受けた安達太良山の姿

である。隣の席の生徒にそれぞ
れの写真を配付し、教師の説話
の段階でその意味を説明した。
このような資料提示における一
工夫が、その資料の持ち味を最
大限に引き出すことにつながっ
た。

(2) 「やりぬく心」を育てる実践

と「今を生きる心」を真剣に
考える心を育てる実践

※「総合単元的道徳学習計画」

参照

① 生徒の実態

昨今の中学生は、ものごとを
成し遂げようとしても、困難に

直面すると簡単に挫折してしま
うことが少なくないと言われて
いる。事情は様々であろうが、
正しいと考えた目標が独断に過
ぎなかつたり、実行していくた
めの合理的な計画性や見通しに
欠ける面によることが多いと思
われる。

また、中学三年生ともなると
卒業後の進路について、考えな
ければならない。自分の適性を
知ると同時に、具体的な進路計
画を立て、その目標に向けて強
い意志をもって取り組んでいく
ことが必要である。

各教科		道徳の時間	
国語科「鑑賞」(48)	道徳の時間(48)	道徳活動「道徳の時間」(48)	道徳活動「道徳の時間」(48)
社会科「人間関係」(45)	道徳の時間(45)	道徳活動「道徳の時間」(45)	道徳活動「道徳の時間」(45)
音楽科「合唱の練習」(7-10)	道徳の時間(7-10)	道徳活動「道徳の時間」(7-10)	道徳活動「道徳の時間」(7-10)
国語科「伝説」(89)	道徳の時間(89)	道徳活動「道徳の時間」(89)	道徳活動「道徳の時間」(89)
英語科「Rejoice」(12)	道徳の時間(12)	道徳活動「道徳の時間」(12)	道徳活動「道徳の時間」(12)
音楽科「卒業を祝って」(18)	道徳の時間(18)	道徳活動「道徳の時間」(18)	道徳活動「道徳の時間」(18)
社会科「地域活動」(22)	道徳の時間(22)	道徳活動「道徳の時間」(22)	道徳活動「道徳の時間」(22)
国語科「道徳の時間」(22)	道徳の時間(22)	道徳活動「道徳の時間」(22)	道徳活動「道徳の時間」(22)

総合単元的道徳学習計画

② 資料について

学校での諸活動でのねらいと
「道徳の時間」の内容項目とを
有機的に結びつけるためには、
教育活動全体を各領域のねらい
の達成と併せて、豊かな道徳的
体験の場、道徳的実践力を高め
る場としてとらえ、「道徳の時
間」を核とした意図的な指導を
していくことが大切である。そ
の「道徳の時間」では、生徒が
興味や関心をもつ資料を開発し
たり、個に応じた指導を工夫し
たり、また、豊かな体験活動と
の関連を意図的、計画的に結び
つけていくものにする。

③ 授業の考察と評価

「やりぬく心」を育てる授業
を実践した十二月には私立の高
等学校の推薦選抜試験が行われ
るということで、生徒達にも緊
張感が高まった。また、この時
期に行われた教育相談では希望
する高等学校と自分の実力との